

今、農山漁村に上昇の力

立ち上がる 農山漁村



「立ち上がる農山漁村」とは？



地域、特に農山漁村が疲弊していると言われてはいますが、自分たちの力で様々な活動を行い、元気を出している地域もあります。このような地域は他の地域に比べて決して条件に恵まれているわけではありませんが、自らの創意工夫と努力により逆境を克服しています。

そういった事例を、首相官邸で開かれる有識者会議で「立ち上がる農山漁村」として選定し、地域自ら考え行動する意欲あふれた取組を推進するために、全国に発信・奨励しています。

事例を
選定する
視点は？

- ①農山漁村を振興するために力強い情熱を持ち、
- ②地域の魅力的な資源を活用し、
- ③これまでの考えやきまりにとらわれることなく、新たな取組に挑戦し、
- ④農山漁村の経済に刺激を与え、雇用の確保につながっているような、先駆的な取組を選定しています。

有識者会議 委員 (敬称略)

平成16年5月、内閣官房で「立ち上がる農山漁村」有識者会議を開催することが了承されました。有識者会議委員は、農林水産業、農林水産物、農山漁村に造詣が深く、それに関する活動をされているなど各界の有識者により構成されています。



林 良博
(はやし よしひろ)
有識者会議座長
東京大学大学院教授



池田 弘一
(いけだ こういち)
アサヒビール
代表取締役会長



今村 司
(いまむら つかさ)
日本テレビ
編成局編成部長



織作 峰子
(おりさく みねこ)
大阪芸術大学教授、
写真家



小泉 武夫
(こいずみ たけお)
食文化論者、文筆家



田中 里沙
(たなか りさ)
宣伝会議
取締役編集室長



永島 敏行
(ながしま としゆき)
俳優



アン・マクドナルド
国連大学高等研究所、
農村漁村研究家



三國 清三
(みくに きよみ)
ホテル・ドゥ・ミクニ
オーナーシェフ

有識者会議の取組

平成16年度〈第1回〉

平成16年6月14日
首相官邸大会議室

- 「立ち上がる農山漁村」30事例が選定されました。



平成16年度第1回有識者会議

平成16年度〈第2回〉

平成17年3月17日
首相官邸大会議室

- 「立ち上がる農山漁村」選定30事例について、「成功要因」を分析し、その結果を政府全体の施策や民間の活動に活用し、他の地域へ応用する方法について検討しました。



平成16年度第2回有識者会議

平成17年度

平成17年12月8日
首相官邸大会議室

- 平成17年度の「立ち上がる農山漁村」30事例が選定されました。



平成17年度有識者会議

平成18年度〈第1回〉

平成18年9月5日
首相官邸小ホール

- 平成17年度事例代表として3団体が出席して、それぞれの活動が紹介されました。
- 有識者会議委員と事例代表者との間で意見交換が行われました。



平成18年度第1回有識者会議

平成18年度〈第2回〉

平成19年1月17日
首相官邸大ホール

- 平成18年度「立ち上がる農山漁村」50事例が選定されました。
- 選定事例に支援・協力を行っている企業や大学等の団体から、8団体が「立ち上がる農山漁村～新たな力～」として選定されました。
- 平成18年度「立ち上がる農山漁村」応募事例の代表として、4団体から各々の活動が紹介されました。



平成18年度第2回有識者会議

平成19年度

平成20年3月12日
首相官邸大会議室

- 平成19年度の「立ち上がる農山漁村」59事例が選定されました。
- 選定事例に支援・協力を行っている企業や大学等の団体から、3団体が「立ち上がる農山漁村～新たな力～」として選定されました。
- 6団体の代表者から、取組の紹介があり、これら団体の方を交えて意見交換を行いました。



平成19年度有識者会議

平成20年度

平成20年12月8日
首相官邸大会議室

- 平成20年度の「立ち上がる農山漁村」47事例が選定されました。
- 選定事例に支援・協力を行っている企業や大学等の団体から、6団体が「立ち上がる農山漁村～新たな力～」として選定されました。
- 農山漁村活性化に取り組む方々 6名を招いて、麻生総理、石破農林水産大臣をはじめとした政府関係者、有識者会議委員で意見交換が行われました。



平成20年度有識者会議

有識者会議提言のポイント

これからの農山漁村振興

地域にできることは地域に！

- 自らの創意工夫により活性化している地域が増えています。
- 特区制度など構造改革の成果が出始めています。

農山漁村の持ち味を活かせる時代

- 何でも手に入る時代ゆえに、他にはない、ここでしか手に入らないものが求められています。
- 農山漁村の環境、景観、文化などこれまで考えられなかったものへのニーズが高まっています。

農山漁村が参加できる新たな市場の形成

- 地域として参加し地域の魅力を高めることが重要なポイント
- 農山漁村らしい景観や生活様式と食材や観光などの有形無形の価値がセットで供給される複合的な市場
- 互いに切磋琢磨し競い合うことで農山漁村全体の活性化が期待される地域振興の市場

切磋琢磨し競い合う活性化！

- 新しい市場を活用し、地域の力を伸ばす施策が必要
- 地域間の切磋琢磨が農山漁村全体の活性化を導く手法への転換

活性化を導くための国の役割

多くの地域の参加の促進

- 農山漁村全体の活性化につながるような、多くの地域が参加するためのきっかけや人材づくり

努力・創意工夫の促進

- 地域の持ち味を活かすための画一的な規制の緩和
- 同じスタートラインに立つための最低限必要な基礎的な条件の整備
- 知的財産の保護制度を地域がうまく使いこなせるような仕組みづくり

再挑戦の機会の提供 (セカンドチャンス)

- 新たな創意工夫を生み出す技術や知恵
- 欠けている部分を補う新たなパートナーの確保

切磋琢磨を促す施策

自ら考え 行動するための土台

- 立ち上がろうとしている地域への協力
意欲の高い地域を選定し各種支援策を集中的に投資
- 活躍している地域リーダー達のノウハウの伝授
総合的な人材育成事業の立ち上げ
- 住民パワーの活用
住民グループへの直接的な支援制度の充実

創意工夫を 生かせる制度

- 地域の持ち味を活かすための整備
農山漁村の持ち味を活かすための条件整備
- 地域の創意工夫を守るための仕組み
農山漁村においても適切な情報やアドバイスを得ることができる仕組み

再挑戦のための 新たな力

- 企業の力を農山漁村に
中長期的な視点から農山漁村の活性化に寄与する企業活動の促進
- 大学の知見を農山漁村に
大学等との協働による地域の創意工夫のレベルアップ
- 団塊世代のノウハウを農山漁村に
団塊世代等の地域活性化活動への参加を促進

現地調査

「立ち上がる農山漁村」選定事例がいかにして成功したのか、そのポイントを見いだすため、有識者会議委員による現地調査を実施しています。

有識者会議委員が、これまでに訪れた選定事例

16年8月8日	想いやりファーム	林良博座長、今村司委員、アン・マクドナルド委員、長岡杏子委員(当時)
16年8月9日	(有)シナジーこしみず	林良博座長、今村司委員、アン・マクドナルド委員、長岡杏子委員(当時)
16年9月1日	農事組合法人食彩工房たてやま	小泉武夫委員、白石真澄委員(当時)
16年11月17日	(株)明宝レディース	三國清三委員
16年11月18日	水土里ネット明治用水	三國清三委員
17年2月17日	柳谷自治公民館	永島敏行委員
18年2月18日	本庄PF研究会	アン・マクドナルド委員、白石真澄委員(当時)、長岡杏子委員(当時)
18年6月30日	農業生産法人(有)桜江町桑茶生産組合	林良博座長
18年6月30日	浜田市水産物ブランド化戦略会議	林良博座長
18年7月1日	第三セクター君田21	林良博座長
18年8月25日	花巻農業協同組合 母ちゃんハウスだっすこ	アン・マクドナルド委員、永島敏行委員
18年8月25日	浅舞婦人漬物研究会	アン・マクドナルド委員、永島敏行委員
18年11月15日	愛東町(現・東近江市)	今村司委員
19年10月30日	竹原郷づくり協議会	林良博座長、小泉武夫委員
19年10月30日	農事組合法人そばの里まぎの	林良博座長、小泉武夫委員
19年10月30日	茂木町	林良博座長、小泉武夫委員
21年2月28日	鋸南町保田漁業協同組合	林良博座長、今村司委員、永島敏行委員
21年2月28日	(株)ガンコ山	林良博座長、今村司委員、永島敏行委員
21年2月28日	NPO法人 大山千枚田保存会	林良博座長、今村司委員、永島敏行委員
21年3月7日	すし工房なばな	林良博座長
21年3月7日	(有)レイク・ルイズ 米粉食品開発事業部	林良博座長
21年3月7日	森林の風	林良博座長

浜田市現地調査



ガンコ山現地調査



有識者会議委員の現地調査での発言

柳谷自治公民館にて、永島委員

「自分自身、農業を応援したいと小さな活動から大きな市場を作ろうとしており、この柳谷の活動と自分の活動に通ずるものがある」



柳谷自治公民館現地調査

第三セクター君田21にて、林座長

「直販所に年間300日野菜を持ち込んでいるという、90歳の谷口さんのお話を聞いて」「中山間地で活性化を目指すには、やはり人が重要。そこに、地域の特性を生かしていくことが必要」

愛東町(現・東近江市)にて、今村委員

「環境、循環、地域住民自らの活動などはマスメディアが伝えたい内容であり、素材としては最高であると思う。今後このような素晴らしい活動を広く全国へ知らしめることが大切。また、取組が成功するしないではなく、地域住民が自分たちで活動する、というプロセス自体を紹介していくことも大切なこと」



東近江市現地調査

浅舞婦人漬物研究会にて、マクドナルド委員

「様々な年代の人が同じ職場で働くことで、優れた伝統技術が無理なく後代に引き継がれていくのは素晴らしいこと」



浅舞婦人漬物研究会現地調査

竹原郷づくり協議会、農事組合法人そばの里まぎの、茂木町にて、小泉委員

「行政の理解と指導、NPO法人や大学といった協力者と地元との協働がうまくいっていることが大きい。こうした出会いのきっかけをつくっていくことが重要」



茂木町 現地調査

水土里ネット明治用水にて、三國委員

「イタリアでのスローフード運動以前から行われてきたことに感銘を受けました」



水土里ネット明治用水現地調査

地域の商店街との交流促進

農山漁村と商店街との連携による双方の活性化を図るため、3つの商店街で立ち上がる農山漁村選定事例による直売を行うとともに、商店街の方との意見交換を行いました。

土沢商店街(岩手県花巻市)

【土沢ちょこっと市】での直売
(平成20年9月26日)

ヒルトップファーム、JAいわて花巻母ちゃんハウスだぁすこ、あやおり夢を咲かせる女性の会、おものがわ夢工房、夢見る老止の館が直売を行いました。意見交換会では出展者、商店街側双方から今後の継続的な関係構築の可能性を探る発言がありました。



水道筋商店街(兵庫県神戸市)

【まちむら交流市】での直売
(平成20年10月19日)

ふれあいの里上月、東芦田まちづくり協議会、北比良グループ、里山パン工房が直売を行いました。意見交換会では、商店街側から「徒歩で買い物ができる商店街で、安全・安心な農産物を購入できる場があることには大きな意味がある」ということが指摘されました。



子飼商店街(熊本県熊本市)

【わくわく物産市】での直売
(平成20年11月21～22日)

阿蘇町食と農を考える女性の会、五ヶ村村おこしグループ、柳谷自治公民館が直売を行いました。意見交換会では、農山漁村側から、出店を契機にお客さんに農山漁村に来てもらえるようなつなぎ作りにつなげたいとの発言がありました。



シンポジウム

立ち上がる農山漁村の取組を全国に広げるため、これまでに6回のシンポジウムを開催しました。

平成16年9月11日

東京大学弥生講堂

テーマ:「女性による地域づくり」

●食彩工房たてやま、明宝レディース、君田21、内子フレッシュパークからの取組報告、パネルディスカッション

平成16年11月18日

名古屋市天白文化小劇場

テーマ:「食」を活用した農山漁村の活性化」

●有識者会議の三國清三委員による基調講演と、明宝レディースやそばの里まぎのの代表者が参加してのパネルディスカッション



平成17年7月30日

東京大学弥生講堂

テーマ:「農山漁村における知的財産の保護と活用」

●島根県海士町、和歌山県北山村、徳島県上勝町からの取組報告
●特許、商標の専門家による解説と、有識者会議の林良博座長、今村司委員らが加わってのパネルディスカッション



平成17年11月11日

仙台市福祉プラザ

テーマ:「知的財産権を活用した農山漁村の振興」

●有識者会議の三國清三委員による講演
●八幡平市花き研究開発センター、秋田県稲庭うどん協同組合、浅舞婦人漬物研究会の取組紹介、特許、商標の専門家による解説とパネルディスカッション

平成18年9月3日

東京大学弥生講堂

テーマ:「農山漁村の再チャレンジ」

●長野県小谷村山村留学育成会、歌野の自然とふれあう会、馬路村農業協同組合の取組紹介、有識者会議委員の林良博座長、永島敏行委員らが加わってのパネルディスカッション

平成18年11月15日

KBSホール(京都市)

テーマ:「農山漁村の再チャレンジ」

●有識者会議の今村司委員、京都府立大学の宮崎猛教授による講演
●あいとうエコプラザ菜の花館、くのいち本舗、加古川流域森林資源活用検討協議会の取組紹介と、パネルディスカッション



サミット

平成19年5月23日、「立ち上がる農山漁村」に選定された事例代表者が一堂に会し、選定事例の地域間交流や企業、NPO、都市住民等との新たなネットワーク化を支援することを目的に「立ち上がる農山漁村サミット」を開催しました。

現地視察(板橋区:ハッピーロード大山商店街)

サミットに先駆けて、サミットに参加する事例関係者約80名と有識者会議委員が板橋区のハッピーロード大山商店街を訪問し、地域の特産品を扱うアンテナショップ「とれたて村」など、商店街と農山漁村の双方の活性化の促進を図る取組について視察を行いました。



サミット(三田共用会議所)



平成16年度～18年度の選定事例代表者や一般参加者約400名が出席しました。

サミットでは、平成18年度「立ち上がる農山漁村」選定事例に選定証が授与されたほか、小原貢久氏(板橋区ハッピーロード大山商店街振興組合常任理事)、前浜隆広氏(アストラゼネカ株式会社CSRマネジメント部長)、山本謙治氏(株式会社グッドテーブルズ代表取締役社長)を講師として、「地域の応援団からのメッセージ～農山漁村との新たなパートナーシップ～」をテーマとした基調講演、有識者会議委員を交えてのサミット参加者との意見交換が行われました。



その後開催された交流会では、パネルや展示等で選定事例の取組を紹介しながら農山漁村の方々とサミット講師や一般参加者との新たなネットワークづくりに向けた積極的な意見交換が行われました。



レセプション(総理官邸大ホール)

サミット終了後に総理官邸で開かれたレセプションでは、安倍総理自らさんぽく生業の里企業組合の「アク笹巻づくり」と郡上八幡・山と川の学校の「弓矢づくり」を体験したほか、各地の産品を囲んでの懇談により、参加者との交流を深めました。



新たな力 選定事例は増えている

平成18年度から、選定事例に他の団体の模範となるような支援・協力を行っている企業や大学等の団体を、「立ち上がる農山漁村～新たな力」として選定しています。

「江別麦の会」を支援

江別製粉株式会社 haruyutaka.com/

- 小ロット製粉システムを開発し、産地・生産者名を表示した小麦粉の生産を可能として、江別産小麦の地産地消拡大に貢献



株式会社菊水 www.kikusui-ltd.co.jp/

- 江別産小麦を用いた「江別ブランド」のラーメン「江別小麦めん」を市内限定販売し、地産地消を促進



「竹原郷づくり協議会」を支援

作新学院大学総合政策学部 www.sakushin-u.ac.jp/major/faculty_policy/

- 「竹原郷づくり協議会」の活動の基本方針となる「竹原かぐや姫の郷づくり」構想をとりまとめ、竹を地域資源と位置づける



NPO 法人地球緑化センター自主活動グループ
「『かぐや姫』なごみの里竹原」

- 間伐、下草刈り、散策路整備、竹加工品開発やイベントの企画・運営を実施



「NPO法人尾上蔵保存利活用促進会」を支援

弘前大学農学生命科学部地域環境工学科 nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/

- 尾上町全域の蔵データを収集した蔵マップの作成や、ガイド・現地対応スタッフの派遣、イベントの企画・運営に際しての助言および人的協力などを実施



八戸工業大学工学部建築工学科 www.archi.hi-tech.ac.jp/

- 尾上町農家蔵の計測や歴史調査を行い、国登録有形文化財への登録申請を支援



「岩手県住田町」を支援

岩手大学農学部 news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/

- 「住田町林業振興計画」を策定、「住田式木質ベレット」製造や、FSC森林管理認証取得を支援



「南阿蘇村おあしす米生産組合」を支援

東海大学農学部応用植物科学科作物学研究室 www.u-tokai.ac.jp/undergraduate/agriculture/index.html

- 無農薬栽培の取組が活発でなかった九州で、無農薬栽培に挑戦する農家への指導・助言を実施



「当別町亜麻生産組合」を支援

有限会社亜麻公社 www.amakousya.co.jp/

- 亜麻種子の健康成分を活かした高付加価値商品の製造販売を行い、当別町の亜麻をPR、農家と共同で亜麻栽培技術の向上にも取り組む



「在来津軽清水森ナンバブランド確立研究会」を支援

弘前大学 農学生命科学部園芸農学科、生物資源学科 nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/

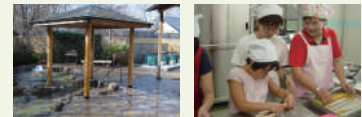
- 唐辛子「弘前在来」種の栽培農家に対する栽培指導を行い、栽培体系の確立と品質改善に寄与、唐辛子加工業者への情報提供も実施



「下妻食と農を考える女性の会」を支援

株式会社ふれあい下妻 beerspark.com/

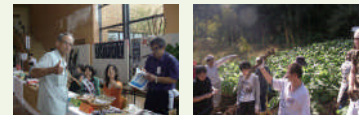
- 食と農を考える女性の会に加工施設を提供、その製品を販売し、地場産品を使った特産品の知名度向上に貢献



「沢野ごぼう生産組合」を支援

金沢大学法学部知的財産法ゼミ www.law.kanazawa-u.ac.jp/

- 「沢野ごぼう」のブランド化に向け、地元と一体となってごぼう栽培や交流活動などの地域活動、商標出願を支援



「根羽村」を支援

アイシン精機株式会社 他4社 www.aisin.co.jp/index.php

- 環境問題への取組の一環として、根羽村と森林(もり)の里親促進事業による協定を締結し、「根羽村親子わんぱく探検隊」を実施



「金の鈴まごころ会」を支援

池田町商工会 www.azumino.com/

- フランス料理店のアドバイスをもとに、レストランへのハーブ・野菜の食材提供事業を開始、ハーブ・野菜の受発注システムを構築



「日間賀島漁業協同組合」を支援

日間賀島観光協会 www.himaka.com/

- 漁協との協力によって体験漁業や、民宿、旅館への地元産魚介類の安定供給を実現、小さな離島でも人を呼び込める魅力ある島づくりを行う



「かつらぎ町観光協会」を支援

土居駅前通商店街振興組合 www.doiekimae.net/

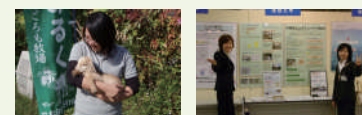
- 商店街の空き店舗にかつらぎ町観光案内所を設置し、かつらぎ町の魅力を発信するとともに地域交流イベントなどによって交流を促進



「農業生産法人(株)はごろも牧場」を支援

琉球大学農学部家畜生理学研究室 山羊ミルク研究チーム www.agr.u-ryukyu.ac.jp/wp/yagi-ken

- 山羊乳の機能性を解明し、その機能性を活用した健康補助食品を開発、事業化を念頭に置き、作業負荷や収益性についてもサポート



これまでの取組

平成16年

- 6月14日 平成16年度第1回有識者会議(首相官邸)
- 6月28日 福本農林水産政務官現地視察(愛媛県内子町)
- 7月21日 亀井農林水産大臣現地視察(高知県構原町)
- 8月8日 有識者会議委員現地調査(北海道小清水町、中札内村)
- 9月1日 有識者会議委員現地調査(富山県立山町)
- 9月11日 「立ち上がる農山漁村」シンポジウム
～女性による地域づくり～(東京大学弥生講堂)
- 10月30日 第3回「青空市場」でのPR(東京都中央区 ADK松竹スクエア)
- 11月17日 有識者会議委員現地調査(岐阜県郡上市、愛知県安城市)
- 11月18日 「立ち上がる農山漁村」シンポジウムin名古屋
～「食」を活用した農山漁村の活性化～(名古屋市天白区)



想いやりファーム現地調査



橋原町森林組合現地視察



明宝レディース現地調査

平成17年

- 1月13日 農業・農山漁村の明日を語る会(首相官邸)
- 2月17日 有識者会議委員現地調査(鹿児島県鹿屋市)
- 3月12日 第4回「青空市場」への出展
(東京都中央区 ADK松竹スクエア)
- 3月17日 平成16年度第2回有識者会議(首相官邸)
- 5月10日 平成16年度「立ち上がる農山漁村」
選定証授与式・意見交換会(日本郵政公社)
- 6月12日 第5回「青空市場」への出展(千葉県船橋市 中山競馬場)
- 7月30日 「立ち上がる農山漁村」シンポジウム
～農山漁村における知的財産の保護と活用～(東京大学弥生講堂)
- 10月5日 販売、マーケティング講習会の開催(農林水産省)
- 10月22日 第7回「青空市場」の開催(東京都中央区 ADK松竹スクエア)
- 11月11日 「立ち上がる農山漁村」シンポジウムin仙台
～知的財産権を活用した農山漁村の振興～(仙台市福祉プラザ)
- 12月8日 平成17年度第1回有識者会議(首相官邸)



平成16年度選定証授与式



販売、マーケティング講習会



第7回「青空市場」

平成18年

- 2月13日 平成17年度「立ち上がる農山漁村」選定証授与式・意見交換会(法曹会館)
- 2月18日 有識者会議委員現地調査(埼玉県本庄市)
- 3月31日 「立ち上がる農山漁村」提言のとりまとめ
- 4月4日 食料・農業・農村政策推進本部に提言を提出(首相官邸)
- 4月9日 第9回「青空市場」への出展(東京都千代田区 丸の内ビル)
- 4月16日 金子大臣政務官現地視察(香川県小豆島町)
- 6月30日 有識者会議委員現地調査(島根県江津市、浜田市、広島県三次市)
- 7月20日 金子大臣政務官現地視察(愛媛県内子町)
- 8月25日 有識者会議委員現地調査(岩手県花巻市、秋田県横手市)
- 9月2日 安倍官房長官現地視察(愛媛県松前町)
- 9月3日 「立ち上がる農山漁村」シンポジウム(東京大学弥生講堂)～農山漁村の再チャレンジ～
- 9月5日 平成18年度第1回有識者会議(首相官邸)
- 11月4日 第10回「青空市場」への出展(東京都中央区 紙パルプ会館)
- 11月15日 有識者会議委員現地調査(滋賀県東近江市)
- 11月15日 「立ち上がる農山漁村」シンポジウム in Kyoto(京都府京都市)～農山漁村の再チャレンジ～
- 11月26日 第11回「青空市場」への出展(千葉県船橋市 中山競馬場)



本庄PF研究会現地調査



母ちゃんハウスだあすこ現地調査



浅舞婦人漬物研究会現地調査

平成19年

- 1月17日 平成18年度第2回有識者会議(首相官邸)
- 2月24日 福井大臣政務官現地視察(高知県馬路村)
- 2月25日 第12回「青空市場」への出展(東京都千代田区 東京国際フォーラム)
- 5月23日 「立ち上がる農山漁村」サミット・平成18年度「立ち上がる農山漁村」選定証授与式(三田共用会議所)
- 10月30日 有識者会議委員現地調査(栃木県茂木町)
- 11月11日 第19回「青空市場」への出展(東京都千代田区 東京国際フォーラム)



そばの里まぎの現地調査



竹原郷づくり協議会現地調査

平成20年

- 3月6日 「立ち上がる農山漁村」意見交換会(農林水産省)
- 3月12日 平成19年度第1回有識者会議(首相官邸)
- 6月25日 平成19年度「立ち上がる農山漁村」選定証授与式(三田共用会議所)
- 9月26日 岩手県花巻市土沢商店街「土沢ちょこっと市」への出店と意見交換会
- 10月19日 兵庫県神戸市水道筋商店街「まちむら交流市」への出店と意見交換会
- 11月21日 熊本県熊本市子飼商店街「わくわく物産市」への出店と意見交換会
- ~22日
- 12月8日 平成20年度第1回有識者会議(首相官邸)



意見交換会



平成19年度選定証授与式

平成21年

- 2月28日 有識者会議委員現地調査(千葉県鋸南町、南房総市、鴨川市)
- 3月3日 平成20年度「立ち上がる農山漁村」選定証授与式(三田共用会議所)
- 3月7日 有識者会議委員現地調査(三重県桑名市、四日市市、岐阜県海津市)



大山千枚田現地調査



森林の風現地調査



立ち上がること。それは日本の農林水産業をもっと元気にする事



問い合わせ先

農林水産省 農村振興局 都市農村交流課

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

TEL 03-3502-5946 FAX 03-3595-6340

URL www.maff.go.jp/j/nousin/soutyo/tatiagaru/index.html